

立候補推薦文

一般社団法人大分青年会議所

理事長 木野 栄俊

「故郷の進歩と繁栄の礎とならん！」これは、中島土君が、2016年に大分青年会議所第63代理事長を務めた時のスローガンです。青年会議所メンバーこそが、明るい豊かなおおいを築くために故郷の進歩と繁栄の礎となろうと訴えかけ、多くの運動を展開しました。

彼は、2011年の入会以来、様々な出向にも挑戦してきました。出向先では多くの出会いや成長につながる貴重な経験を得、それを、LOMや故郷おおいの為に惜しみなく還元し、彼自身のみならず大分青年会議所の成長の礎にもなってくれています。

主な出向としては、2017年、日本青年会議所の道德教育推進委員会委員長として、自ら子を持つ親として道德の必要性を日本へ広げ、また、2018年には同国際グループ担当常任理事として、世界との普遍的なつながりによる調和を実現すべく力を尽くしました。さらに、2019年には同九州地区協議会会長として「協議会はLOMのための実験台」とし、自らが率先して組織改革を実践、九州地区内のメンバーからの信頼を築きました。そして、2020年度には会頭石田全史君のもと、同副会頭として時代に即した組織へのアップデートを図り、あわせて、20年ぶりとなるJC宣言文の改訂もリードしました。総会にてJC宣言文改訂が審議された際、それに携わった仲間と共に涙を流した姿は、すべての活動に対する彼の本気の想いが溢れた瞬間でもあった様に思います。さらに、本年度は会頭野並晃君のもと同専務理事として青年会議所運動の中樞を担い、会頭をはじめ全国のメンバーを支えようと汗を流しています。

中でも、中島君が副会頭を務めた際、私は直属の補佐として共に活動しましたが、彼には周りを見渡す力、圧倒的な行動力、人の心を動かす力、全てが備わっていると感じました。さらに、彼は、関わる全てのメンバーの成長を願い、それを自分自身の使命とし、誰にも等しく機会を提供しようとしています。彼なら、日本のみならず全ての地域を思い、青年のリーダーとして十二分に力を発揮してくれると確信しています。

私たち大分青年会議所は、メンバーの総意をもって、中島土君を全力で支援することを全国のメンバーの皆様にお約束し、公益社団法人日本青年会議所2022年度会頭候補者として強く推薦いたします。